

## 会員のコラム

大きな満足、大きな間違い

今回は別ネタでと思ったが、やっぱり息子ネタで…

先日風呂上りにパジャマを着せようとした時のこと、おむつと下をはかせた段階で肌着を用意していなかったことに気付き、取りに行っている間の一分ほど息子をひとりにした、なにやら叫んでいるので急いで戻ってみると、そこには誇らしげな顔で喚起の声を発す息子が、どうか見てくれ言わんばかりに立っていた、最近なんでも自分でやりたがる息子が自力でパジャマの上を着ることができて喜んでいたので、大満足の息子をがっかりさせないように褒めながら大笑いをこらえて教えてやる、ひとりですたははえらいぞ、でもそれじゃおへそがなぜをひくね、息子は上着をはいっていたのだ(笑)理由はたったひとつ、それしか知らなかったからだ、少し前からパンツ(パンツタイプのおむつ)を自分ではけるようになったことだけは練習していたので、その成果が発揮されたようだ。

ちゃんと着なわせてやりながらふと自分のことを思い出した、職人修行のはじめクロソ貼りの仕事をしていた時、なかなかクロソの柄合わせがうまくいかず四苦八苦していた私に親方が一言、「そういうところをやるときは下からやるんだ」と言われるまま下からやるとうまくいった。当時私は基本の上から貼る

やり方しか知らなかった。あのときの親方には私が上着をはいた息子のようには映っていたのではないかと思うと、ちよつとした恥ずかしさと知るこゝろ・考えることの重要さを再認識した。

自分はこれが当たり前だと思っただけのことや、ベストだと信じていることも全ての人からそう思うとは限らないものである、多様な世の中なので当然であるが、あやふやな知識や一方的な考えに基づいたものをひけらかして他人(ひと)から笑われないように常日頃の情報収集、日々研鑽を怠ることの無いように頑張らましよう。(個性と滑稽は紙一重なり、知るは一時の恥、知らぬは一生の恥・・・云々)ゴロ良くまとまつたので別枠の追伸欄も見て下さいな。

コラムの追伸欄 (内装職人)

私の個人的な意見であります、せつかく青年委員会という業界のスペシャリストの集まりがあるのにも情報源としての活用性が悪いのではと前々から思っております…

あまり仰々しい情報ネットとかは手間と維持が大変で立ち消えしそうなので、気取らないざつとくばらんなメール交換程度のことからはじめたいと思うんですが…将来的にはホームページあたりにはちゃんとしたかたちでやればベストですが…みなさんいかがでしょうか？手始めに次回の委員会に来た時にアドレス一覧表への記入をお願いいたします。追伸の追伸 先月の編集後記に宮脇の名が出てい

ましたが、私の学生時代のバイブルの中に「宮脇の住宅設計ノウハウ」という本がありまして、二十年前の本ですが、今でも十分読み応えのある素晴らしい本ですので読まれたことのない方は是非一読を、こんな感じの良い図書の紹介やCADの工夫した使い方、業界の動向、業者の紹介、新しい工法や建材のことなど言いたいこと聞きたいこと、なんでもOK(目指すは會員のみなさんのヘルプ機能)

## 協力会員紹介

支部協力会員に、次の二社様が入会されました。

株式会社 北洋電設

青森設備工業 株式会社

今後とも支部の活動にご協力をお願いいたします。

## 事業告知

地域貢献活動/緑を活かし雪と仲良く暮らすために

日々の業務で多くの「住まいづくり」をしている私たち建築士ですが、一般的に、その行為はあくまでも「個」の住まいづくりという部分だけです。お客様にあったライフスタイルを提案(裏面に続く)

## 5月定例会のご案内

1単位

日 時 平成 18 年 5 月 12 日 (金) 18:30 より

今回は緊急につき別途 FAX で案内しましたが、届いていない方はこの出欠案内を使用してください。

場 所 中央市民センター2階中会議室(3)(松原 堤小前)  
会議室は「まちづくり応援隊」名義で借りています。

議 題 1.5月20日開催のワークショップについて  
2.その他

連絡先 青森支部事務局まで TEL 017-773-2878  
FAX 017-723-7105  
Mail receipt@aaba.gr.jp

単位シールをご希望の方は**確実に出席のご連絡**をお願いします(定例会の2日前まで)。

事前のご連絡がなく出席された場合は各自にて(社)青森県建築士会 HP (<http://www.aomori-aba.or.jp>)内のCPD自己研修バーコード発行システムをご利用下さい。なお各自のログインパスワードは支部事務局までお問い合わせ下さい。FAXでのご連絡は下記にご記入の上送信して下さい。

青年委員会 5月定例会 5月12日(金)

出席・欠席

どちらかに○をつけて下さい

5月10日(水)必着  
をお願いします。

お名前

TEL

## 編集後記

拝啓 内装職人さま

(表面から続く)し、実現するという「個の住まい」を探求しているにすぎません。この行為自体がすべて間違っているとは思いませんが、「個の住まい」の存在自体が街の環境の豊かさを阻害し、単に自己完結型性の高い住まいがランドダムに並び街並みなのかもしれないという疑念はつきまといまいます。

そこで、平成十八年度の地域貢献活動では「緑を活かし雪と仲良く暮らすために」というテーマで、個人の「住まいづくり」が「街」の環境を高め、ひいては個人の「得」へとフィードバックされるという、個人の「住まいづくり」と街の「環境づくり」を行政職員や学生など一般の方々といっしょに考えるワークショップを五月二十日(土)の午後一時半より、場所は建設会館六階大会議室で行います。

環境共生型コーポラティブハウスを多数コーディネートし、「エコロジック住宅市民学校」を主催する(株)チームネットの甲斐徹郎先生と、自ら雪室のある「幸雪館」という実験住宅に住まい、冷熱エネルギーとして雪を研究している青森大学の関幸子先生のお話をうかがいながらのワークショップです。

会員の皆様の多くのご参加をお待ちしております。

なお、このワークショップはCPD認定講習(六単位)となります。

(女性委員会隠密剣士・ぶう)

別添のチラシもご覧下さい

(編集人)

「宮脇檀の住宅設計ノウハウ」はいい本ですよ。うちにもありますよ。やはり二十年前に買ったものでした。ボクもいまだに時々ふと思いついては読み返しています。あのアイデアの数々は本当に勉強になりますよね。そしてそのどれもが、少しもお客さんの気を惹くための「便利機能」なんかじゃなく、確かな空間構築の骨格ができている上での、手段として技術を發揮させた結果であるところが素晴らしい(なんかこ難しく書いてしまった。少しでも近づきたいものです)。

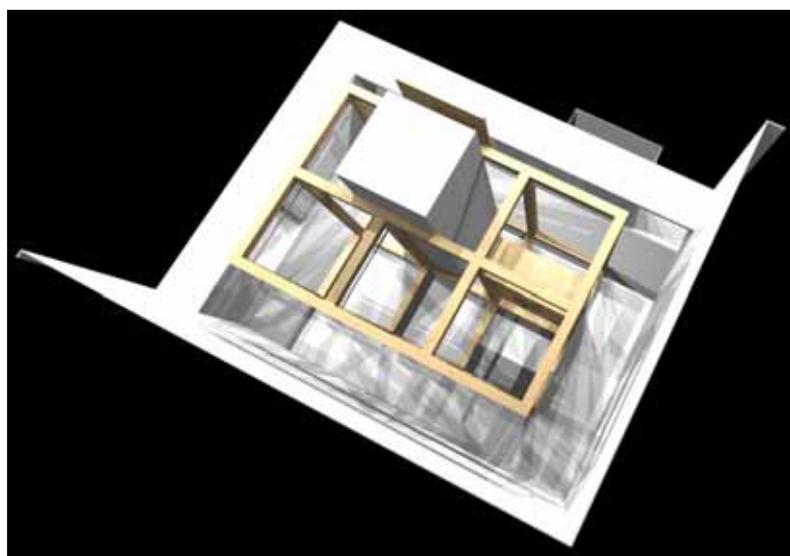
敬具

さて今月は思いがけず、だよりが裏面まで来てしまったので、後記も字数頑張って埋めます！二十年前というと世はバブル景気のスタートした年ですね。デザイン学校を卒業して就職しなきゃならない。けど就職相談室の求人票を覗いてもめぼしいデザイン事務所が見つからず、ここならどうかと青山にある事務所を訊ねるも、厳しく優しく諭され放免に。次は裏の手を使って今度はまったく求人なんかしてない、代官山にある某有名な事務所を訊ねる。持っていたボードに先生が一言一言なにか言ったら、スタッフに向かつて「シメ行こっか」。そっ、クセのある事務所だ

つたようだ。結局手がなくなり、最後の手段で当時恵比寿にあつたこれまた某有名な事務所丁稚奉公みたくに置いてもらうことに。給料はたしか四万円、当然生活費は仕送りが頼りという状態。しかし事務所的にも業界的にもすでにバブル景気の兆しが漂い、事務所はほどなく南麻布のマンションに移ることに。そう言えば「バブル景気」の始まった八十六年には象徴的な赤坂・六本木地区のアーケヒルズが誕生しました。ヒルズと言えば最近では六本木ヒルズに表参道ヒルズ(安藤忠雄は好きです)、「ヒルズ族」や「ブチ・パブル」なんて言葉がテレビから繰り返されてる。経済の成功者は「ヒルズ」に憧れるようですが、平成以前の、特にクリエータ関係のひとたちにとつては代官山の「ヒルサイドテラス」(横文彦はあまり知りませんが)が憧れでした(裏の手を使って訊ねた事務所もここにあつた)。

問もなく青森に帰ってきまして、あのころは多かったですね。本当に「バブル景気」の終末とともに風いだみみたいに静かになりました。いまは本当に大変です！小さな修繕程度の仕事(失礼!)でも相見積もりになったり、で、「これより安く取っとうすんだ？」ってびっくりしたり。それでもやってかなぎや！言葉遣いって要注意！仕事もプライベートも。普段から口が悪いほうですが、もちろんお客さんとの会話では注意してますよ。注意してますけど...

編集人 sohey712



ワークショップデザインの試案の内観パース。いろいろな角度から作ってみる。これは妙な角度からの俯瞰。